

骨を守る、一生のパートナーとして、骨粗鬆症と共に歩む医療

骨粗鬆症の予防と治療に向けた 当院の取り組み

当院整形外科では主に人工関節置換術（股関節・膝関節）、骨折に対する手術、脊椎（頸椎・腰椎）疾患、スポーツ関連疾患における治療を行っております。

日々の診療で様々な疾患の方に遭遇しますが、近年益々増えていると実感するのが骨粗鬆症の患者様です。

骨粗鬆症は、閉経、加齢、性ホルモン不足、ステロイド等薬剤、運動不足など種々の要因により骨量の減少と骨質の劣化が関係しています。

骨粗鬆症の診断にはdual-energy X-ray absorptiometry (DXA)を用いて、腰椎と大腿骨近位部の両方を測定することが望ましいとされています。今まで当院では手関節にて骨密度を計測しておりましたが、今年の秋より当院でもようやく腰椎と大腿骨を用いたDXAの導入

が決まりましたので、更なる骨粗鬆症の予防・治療に取り組むことが可能となります。

高齢者の骨折は要支援・要介護の原因となり、特に大腿骨近位部骨折および椎体骨折は予後が悪いことが知られています。大腿骨近位部、椎体骨折患者の一年後の死亡率はそれぞれ約二〇%、約三〇%、五年後の死亡率は約六〇%、約七〇%と報告されています。したがって骨折を予防することが、患者様の生活の質だけでなく予後の改善にも非常に重要となります。

近年骨粗鬆症に対する治療薬は急速に進歩し、薬剤が開発されています。

内服薬（毎朝、週一、月一）、注射（毎日、週一、週二、月一、半年に一度）、点滴（月一、年一）等様々ありますが、薬剤のメリット、デメリットを理解していただいた上で

それぞれの患者様の骨の状態や通院頻度に合わせた使用方法を提案させていただきます。

また高齢者だけが骨粗鬆症になるというわけではありません。妊娠・出産・授乳も関係しており、出産後に骨粗鬆症性骨折がまれではありますが、発生することは報告されています。若年の女性も一度骨粗鬆症の検査を受けることをお勧めします。

男性においても例えば前立腺疾患のホルモン療法では、性ホルモン不足性の骨粗鬆症に陥ることが知られています。

骨密度は加齢に伴い減少するので、骨粗鬆症に“治療”という概念は当てはまりません。一生関わっていくものだと思いますので、私たちと共に治療を行っていきませんか。少しでもお悩みがあればお気軽にご相談ください。

急性期治療を終えた患者様、 施設・自宅で医療が必要な患者様の ご紹介を承っております

本庄総合病院
地域医療連携室

☎ 0495-27-3670 (直通)

📠 0495-24-5728 (直通)

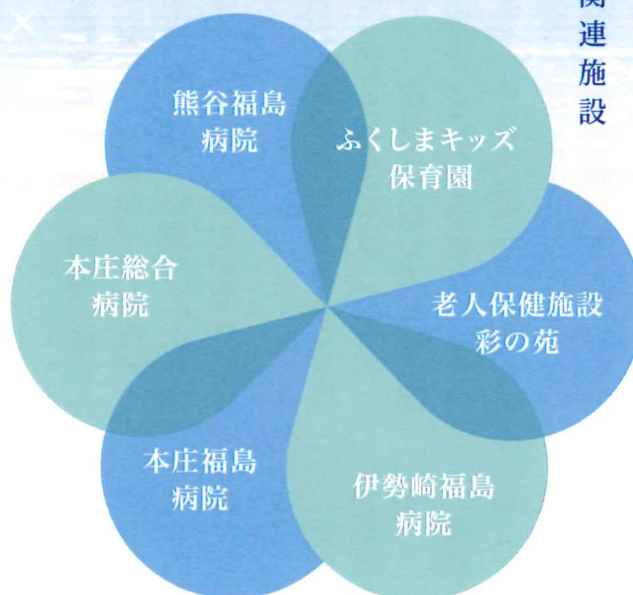
平日 9時～17時、土曜 9時～12時

(土曜午後、日曜、祝日は除く)

地域医療連携室スタッフ：看護師 2名 MSW 3名

✉ sodan001@honjo-hp.jp

関
連
施
設



〈アクセス〉



〈診療受付時間〉

平日 8:30~12:00、13:00~17:00

土曜 8:30~12:00

休診日 土曜午後、日曜、祝日
年末年始(12/29~1/3)

診療科 ■内科 ■精神科通院医療 ■外科・消化器科
■乳腺科 ■整形外科 ■脳神経外科 ■皮膚科
■泌尿器科 ■眼科 ■耳鼻咽喉科 ■理学診療
■消化器内視鏡

病棟機能 ■急性期病床：137床（うち、感染症：2床）
■地域包括ケア病床：48床
■療養病床：102床



医療法人本庄福島病院

本庄総合病院



〒367-0031 埼玉県本庄市北堀1780

TEL：0495-22-6111

FAX：0495-24-5765

<https://www.honjo-hp.jp>

